



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 関西ペイント株式会社
 コード番号 4613 URL <http://www.kansai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石野 博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 浅妻 慎司
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 06-6203-5531

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	191,856	18.2	19,871	11.3	22,525	19.5	12,602	10.2
29年3月期第2四半期	162,268	5.0	17,848	6.6	18,849	4.3	11,440	10.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 19,768百万円 (%) 29年3月期第2四半期 4,304百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	48.98	42.54
29年3月期第2四半期	43.80	38.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	583,934	310,286	45.7
29年3月期	540,458	296,165	46.9

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 267,132百万円 29年3月期 253,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		11.00		11.00	22.00
30年3月期		13.50			
30年3月期(予想)				13.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	21.1	39,000	10.4	43,500	8.7	26,000	7.6	101.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	272,623,270 株	29年3月期	272,623,270 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	15,351,087 株	29年3月期	15,286,492 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	257,316,868 株	29年3月期2Q	261,203,833 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期における世界経済は、地政学的リスクの高まりや、各国の政治・政策動向など依然として不確実性が見られますが、米国の好調な企業マインドや雇用の改善、欧州の底堅い個人消費などに加え、中国を始めアジア新興国も各種政策の下支えを受けて着実に回復するなど、景気の持ち直しの動きが見られました。わが国経済は、世界景気や雇用所得環境の改善を受け、景気は緩やかに回復しました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、2017年3月に連結子会社化した欧州のKansai Helios Groupの業績寄与もあり増収増益となりました。売上高は1,918億56百万円（前年同期比18.2%増）、営業利益は原材料価格高騰の影響を受け198億71百万円（前年同期比11.3%増）となりました。また、為替差損が減少したことや、退職給付制度改定益の計上がありました一方、減損損失や海外において早期割増退職金を計上したことなどにより、経常利益は225億25百万円（前年同期比19.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は126億2百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

各セグメントの状況は以下のとおりであります。

なお、前第4四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

《日本》

自動車分野は、新車用分野では自動車生産台数が前年を上回り、売上は伸長しました。工業分野、船舶分野及び防食分野においては市況に回復の動きが見られ、売上は前年を上回りました。自動車分野（補修用）では、市況が低調に推移するなか、高付加価値製品の拡販継続に努め、売上は前年を僅かながら上回りました。建築分野においては、市況の本格的回復にはいたらず、売上は前年を僅かながら下回りました。これらの結果、当セグメント全体の売上は前年を上回りました。また、為替差損が減少したことや、各種コストダウン施策によるトータルコスト低減にも努め、利益は大きく増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は773億41百万円（前年同期比4.7%増）、経常利益は119億97百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

《インド》

引き続き経済が伸長するなか、自動車分野では自動車生産台数の増加が続き、売上は大きく伸長しました。建築分野においても、需要拡大が継続し、売上は大きく伸長し、当セグメント全体では売上及び利益ともに前年を大きく上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は438億61百万円（前年同期比17.5%増）、経常利益は72億62百万円（前年同期比22.9%増）となりました。

《アジア》

中国においては、自動車生産は堅調に推移しましたが、自動車分野での売上は前年を僅かながら下回りました。また、工業分野の売上は建設機械向け塗料などが伸長し、中国全体での売上は前年を上回りました。インドネシアにおいては、経済が堅調に推移するなか、自動車分野及び建築分野において売上は前年を上回りました。タイにおいては、輸出向けの需要の低迷が続き自動車生産台数の減少を受け、業績は前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は306億95百万円（前年同期比8.4%増）となりましたが、経常利益は原材料価格高騰の影響や販売費及び一般管理費が増加したことなどにより26億62百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

《アフリカ》

南アフリカ及び近隣諸国の経済が低迷するなか、引き続き販売活動の促進に努めましたが、現地通貨ベースで売上は前年を下回りました。また、通貨安による原材料価格の高騰及び価格競争の激化、また一過性費用の発生が収益を大きく圧迫し、利益は前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は144億25百万円（前年同期比7.9%増）、経常損益はのれんの償却を含め経常損失22億70百万円（前年同期比 - %）となりました。

《欧州》

トルコでは、自動車生産の増加及び販売活動促進の取組により、現地通貨ベースでは売上は大きく増加し、各種コスト低減にも努めました結果、利益も大きく増加しました。しかしながら、円貨ベースでの業績は為替換算による押し下げの影響を受けました。

なお、第1四半期連結会計期間より、トルコのPolisan Kansai Boya Sanayi Ve Ticaret A.S.の業績を、のれんの償却を含め持分法投資利益に計上しております。

また、当第2四半期連結会計期間より、Kansai Helios Groupの業績を、のれんの償却を含め計上しております。

これらの結果、当セグメントの売上高は227億71百万円（前年同期比158.5%増）、経常利益は22億67百万円（前年同期比297.5%増）となりました。

《その他》

北米では自動車生産は低調に推移し、競争の激化等の影響もあり、持分法投資利益は減少しました。

なお、2016年8月に連結子会社化した、米国のU.S. Paint Corporationの業績を、のれんの償却を含め計上しております。

これらの結果、当セグメントの売上高は27億60百万円（前年同期比353.7%増）、経常利益は6億6百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億50百万円増加し524億64百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比33億75百万円収入が増加し、136億52百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益228億38百万円、仕入債務の増加額76億36百万円、利息及び配当金の受取額32億93百万円などの収入、売上債権の増加額139億17百万円、法人税等の支払額79億24百万円などの支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比376億75百万円支出が減少し、249億66百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出76億81百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出135億63百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比676億38百万円収入が減少し、112億29百万円の収入となりました。これは主に、短期借入金の増加額167億40百万円などの収入、配当金の支払額28億40百万円などの支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、本日（2017年11月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,027	53,623
受取手形及び売掛金	103,199	119,998
有価証券	9,181	7,975
商品及び製品	33,610	33,796
仕掛品	4,252	5,192
原材料及び貯蔵品	21,274	23,255
その他	12,644	12,593
貸倒引当金	△3,237	△3,492
流動資産合計	233,953	252,943
固定資産		
有形固定資産	110,564	115,826
無形固定資産		
のれん	44,215	55,597
その他	24,010	22,736
無形固定資産合計	68,226	78,333
投資その他の資産		
投資有価証券	95,830	102,298
その他	33,012	35,836
貸倒引当金	△1,129	△1,303
投資その他の資産合計	127,713	136,831
固定資産合計	306,505	330,991
資産合計	540,458	583,934

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,382	68,590
短期借入金	8,520	27,044
未払法人税等	4,374	5,176
賞与引当金	4,770	5,177
その他	22,426	21,134
流動負債合計	99,472	127,123
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	101,587	101,262
退職給付に係る負債	9,632	8,331
その他	33,600	36,930
固定負債合計	144,820	146,524
負債合計	244,293	273,648
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,658	25,658
資本剰余金	14,421	13,257
利益剰余金	218,880	228,643
自己株式	△25,088	△25,254
株主資本合計	233,872	242,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,229	36,136
繰延ヘッジ損益	-	△6
為替換算調整勘定	△12,548	△11,969
退職給付に係る調整累計額	794	667
その他の包括利益累計額合計	19,475	24,827
非支配株主持分	42,817	43,154
純資産合計	296,165	310,286
負債純資産合計	540,458	583,934

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
売上高	162,268	191,856
売上原価	107,528	127,646
売上総利益	54,739	64,209
販売費及び一般管理費	36,891	44,338
営業利益	17,848	19,871
営業外収益		
受取利息	379	713
受取配当金	779	804
持分法による投資利益	2,214	1,717
雑収入	479	652
営業外収益合計	3,852	3,887
営業外費用		
支払利息	446	628
社債利息	42	-
たな卸資産廃棄損	84	88
為替差損	1,791	63
雑支出	487	453
営業外費用合計	2,851	1,233
経常利益	18,849	22,525
特別利益		
固定資産売却益	3	22
投資有価証券売却益	619	247
退職給付制度改定益	-	760
特別利益合計	623	1,029
特別損失		
固定資産除売却損	69	97
投資有価証券評価損	10	-
減損損失	-	301
早期割増退職金	-	317
特別損失合計	80	717
税金等調整前四半期純利益	19,392	22,838
法人税等	5,911	8,058
四半期純利益	13,481	14,779
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,041	2,176
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,440	12,602

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期純利益	13,481	14,779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	549	4,349
繰延ヘッジ損益	-	△6
為替換算調整勘定	△15,182	976
退職給付に係る調整額	△129	△127
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,023	△201
その他の包括利益合計	△17,786	4,989
四半期包括利益	△4,304	19,768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,083	17,954
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,221	1,814

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,392	22,838
減価償却費	4,775	5,895
減損損失	-	301
のれん償却額	626	1,511
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	509	342
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△450	△2,731
受取利息及び受取配当金	△1,158	△1,517
支払利息及び社債利息	488	628
持分法による投資損益 (△は益)	△2,214	△1,717
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△247
投資有価証券評価損益 (△は益)	10	-
固定資産除売却損益 (△は益)	65	75
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,578	△13,917
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,918	△468
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,336	7,636
その他	△100	284
小計	15,112	18,915
利息及び配当金の受取額	2,468	3,293
利息の支払額	△468	△631
法人税等の支払額	△6,835	△7,924
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,276	13,652
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△53,233	△651
定期預金の払戻による収入	11,233	218
有価証券の純増減額 (△は増加)	△6,115	1,523
有形固定資産の取得による支出	△5,338	△7,681
有形固定資産の売却による収入	179	97
無形固定資産の取得による支出	△1,562	△324
投資有価証券の取得による支出	△157	△93
投資有価証券の売却による収入	-	20
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△6,388	△13,563
出資金の払込による支出	-	△436
貸付けによる支出	△1,346	△147
貸付金の回収による収入	369	163
為替予約の決済による収支 (純額)	-	△3,206
その他	△281	△885
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62,641	△24,966

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,519	16,740
長期借入れによる収入	2,137	4
長期借入金の返済による支出	△767	△552
新株予約権付社債の発行による収入	102,100	-
自己株式の取得による支出	△20,004	△165
配当金の支払額	△2,538	△2,840
非支配株主への配当金の支払額	△1,476	△1,933
非支配株主からの払込みによる収入	80	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△3,182	-
その他	0	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	78,867	11,229
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,736	234
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	23,766	150
現金及び現金同等物の期首残高	60,861	52,314
現金及び現金同等物の四半期末残高	84,627	52,464

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	アジア	アフリカ	欧州	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	73,846	37,313	28,322	13,370	8,807	161,660	608	162,268	-	162,268
(2) セグメント間の内部 売上高または振替 高	7,211	6	1,839	64	25	9,148	-	9,148	△9,148	-
計	81,057	37,319	30,161	13,435	8,833	170,808	608	171,416	△9,148	162,268
セグメント利益または損失 (△)	9,980	5,909	3,586	△1,767	570	18,279	569	18,849	-	18,849

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益または損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域

インド……インド、ネパール等

アジア……タイ、中国、インドネシア等

アフリカ……南アフリカ、ジンバブエ、ナミビア等

欧州……トルコ等

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間にU.S. Paint Corporationの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことから、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、2,613百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	アジア	アフリカ	欧州	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	77,341	43,861	30,695	14,425	22,771	189,095	2,760	191,856	-	191,856
(2) セグメント間の内部 売上高または振替 高	8,387	13	1,735	134	15	10,287	-	10,287	△10,287	-
計	85,729	43,874	32,430	14,560	22,786	199,382	2,760	202,143	△10,287	191,856
セグメント利益または損失 (△)	11,997	7,262	2,662	△2,270	2,267	21,919	606	22,525	-	22,525

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益または損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域
 インド……インド、ネパール等
 アジア……タイ、中国、インドネシア等
 アフリカ……南アフリカ、ジンバブエ、ウガンダ等
 欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア、ルクセンブルク等

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間より、量的な重要性が増したため、「その他」の区分に含まれていた「欧州」を報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、「日本」セグメントにおいて減損損失301百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

前第2四半期連結会計期間に実施したU.S. Paint Corporationの企業結合に係る暫定的な会計処理は、前連結会計年度末に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴い、前第2四半期連結累計期間ののれん金額の重要な変動は、当該見直し反映後のものを記載しております。

「アフリカ」セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間にSadolin Group各社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことから、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、9,667百万円であります。なお、当該金額は暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。